

『高浜市のあゆみ』編さん基本方針(案)

—目次—

1. 編さんの目的 P 1
2. 名称 P 1
3. 実施期間 P 1
4. 編さんの基本方針 P 2
5. 構成・内容 P 3
6. 仕様 P 4
7. 編さん体制 P 5・6
8. 編さんスケジュール P 7
9. 編さん後の普及活動 P 8

平成28年11月

1. 編さんの目的 —先人たちのあゆみやまちへの想いを知り、未来へと伝えていく—

「高浜市誌」が発行されてから約40年が経過し、この間、土地区画整理事業などに伴う宅地化の進行、人口の大幅な増加、道路交通網や景観の整備、市民が主体となったまちづくりの推進など、市の状況は大きく変化してきました。しかし、まちのあゆみを知ることができる貴重な資料の保存や、人々の中にある記憶を記録にとどめる作業は十分に行われているとは言い難く、市民の共有財産である資料等の散逸・消失を防ぐことは大きな課題となっています。

かつての市誌に掲載されている情報も、近年の調査・研究によって新知見が得られてきました。また、平成26年度からは「タカハマ！まるごと宝箱」事業がスタートし、歴史・伝統・文化・産業・自然など、先人から長い年月をかけて受け継がれてきた市の様々な魅力・自慢を市民の皆さんと掘りおこし、将来に語り継いでいこうという機運が高まりつつあります。

そこで、これまで歩んできた歴史や人々の記憶を知り、市の有形・無形の資料を整理して後世へ伝えるとともに、今を生きる私たち、そして将来のまちづくりに活かしていくことを目的として、市誌の編さんを行います。

発行については、市制50周年を迎える平成32年度を目指します。

これまでの市誌編さんのあゆみ

発行年月	名称
昭和41年5月（1966）	高浜町誌 第一巻
昭和51年3月（1976）	高浜市誌 第二巻
昭和57年4月（1982）	高浜市誌資料（一）～（六）
昭和60年10月（1985）	高浜市誌資料（七）
平成元年3月（1989）	高浜市誌資料（八）

2. 名称

「高浜市のあゆみ」

3. 実施期間

平成28年度～平成32年度（予定）

4. 編さんの基本方針 —市民と共につむぐ・つなぐ—

①市制施行以降のあゆみを重点的にまとめます

- ・「高浜町誌」「高浜市誌」「高浜市誌資料」に収められていない、市制施行（昭和45年（1970））以降の高浜市のあゆみを重点的にまとめます。
- ・近年の調査・研究で得られた知見を反映させ、新たな資料を盛り込みます。
- ・市民の暮らしぶりや市民や市民団体、事業者などが地域や時代の中で果たしてきた役割についても触れるなど、行政史に偏ることなく、幅広い観点からまとめます。

②まちのあゆみをわかりやすく、活用しやすい形でまとめます

- ・子どもから高齢者まで、幅広い年代の市民が「読んでみたい」「活用したい」と思えるよう、写真や図などのビジュアル資料を多用するとともに、わかりやすく、親しみやすい表現でまとめます。
- ・現在の高浜市がどのように形成されてきたか、1冊でそのあゆみを見渡せるように、高浜市域に人の活動の痕跡が残る先史時代から、時代順に概略を掲載します。
- ・Web上での公開も意識して、編さんを進めます。

③資料等が散逸・消失しないよう、整理・保存を進めます

- ・まちのあゆみを知ることができる各種資料や、人々の中にあるまちの記憶が失われてしまわないよう、編さん過程で得られた資料等は、今を生きる市民や将来の市民が活用できるよう、体型的な整理・保存を進めます。

④「たかはま大好き」「住んでいるまちをより良くしたい」の想いを高めていきます

- ・市の広報を通して情報発信を定期的に行うほか、中間報告会を開催するなど、編さん経過の紹介や成果を市民に還元することで、まちへの興味・関心を高めていきます。
- ・「タカハマ！まるごと宝箱」事業などと連動し、資料の掘りおこしや編集・普及活動市民とともにいき、まちづくりの原動力となるまちへの愛着・誇りの高まりにつなげていきます。

5. 構成・内容（イメージ）

章	テーマ	掲載内容（イメージ）	ページ数
	発刊にあたって		1
	もくじ		2
第一章	高浜市の現況、地域の概要	人口と行政、産業、観光、交通、小学校区ごとの地域概要	20
第二章	先史・古代・中世の高浜	<u>縄文時代から江戸幕府成立の時期まで、時代に沿って高浜の特徴をまとめる</u> ・暮らしの痕跡（貝塚） ・製塩遺跡・専修坊の成立	30
第三章	近世・近代の高浜	<u>江戸時代から戦前の時期まで、時代に沿って高浜の特徴をまとめる</u> ・醸造業と海運・土器生産 ・瓦生産の始まり・高浜町発足 ・三河鉄道開通・土管産業 ・明治用水・高浜川開削	70
第四章	現代の高浜	<u>戦後の移り変わりをまとめる</u> ・農協・教育機関・文化活動 ・衣浦大橋開通・市制施行 ・公共施設建設・福祉のまち ・区画整理・まちづくり協議会	100
第五章	聞き書き	・戦時中の暮らし・伊勢湾台風 ・三河地震・やきもののまち ・人形文化・かつての高取	20
第六章	高浜市の文化財	県・市指定文化財の紹介	40
	高浜市年表		10
	あとがき		2
	参考文献一覧		2
	協力者一覧		1
	編さん関係者名簿		1
	執筆分担一覧		1
付録	高浜市文化財マップ		別添・綴込

※「タカハマ！まるごと宝箱」事業とも連携しながら、別冊で小冊子を発行。

6. 仕様（案）

名称	高浜市のあゆみ
判サイズ	B 5 判・縦
製本	並製本・アジロ
用紙	表紙：アートポスト、本文：マットコート 本扉：上質、見返：ミューズコットン
刷色	本文：4色/4色、表紙4色/0色
ページ数	300ページ程度
刊行部数	1,000部

8. 編さんスケジュール（案）

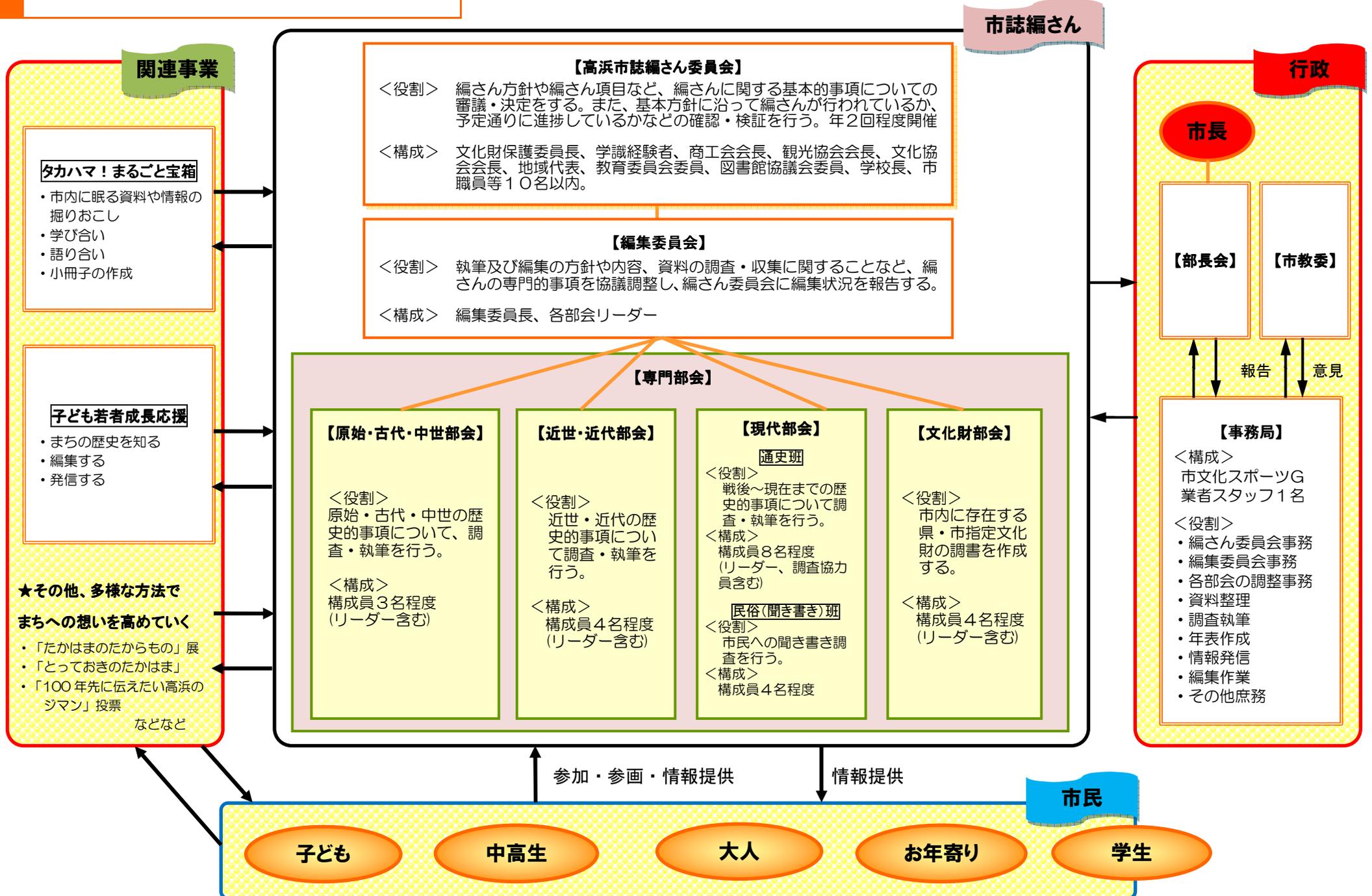
年度	編さん委員会	編集委員会	部会	事務局・委託
H28 <u>体制づくり</u>	<ul style="list-style-type: none"> ・委員長、副委員長選出 ・基本方針の策定 ・編集要領等の策定 ・部会編成 ・構成、執筆分担検討 	※28年度は編成のみ行う。		<ul style="list-style-type: none"> ・編さん委員会に関する事務 ・基本方針の検討 ・編集要領の検討 ・部会編成 ・構成、執筆分担検討 ・収録資料の抽出
H29 <u>調査執筆</u>	<ul style="list-style-type: none"> ・編さんの進捗確認 ・基本方針と事業内容との整合確認 	<ul style="list-style-type: none"> ・執筆、編集方針検討 ・調査方法の確認 	<ul style="list-style-type: none"> ・資料調査 ・原稿執筆 ・図版作成等 	<ul style="list-style-type: none"> ・委託契約事務 ・各委員会、部会に関する事務 ・収集資料の整理 ・中間報告
H30 <u>調査執筆</u>	<ul style="list-style-type: none"> ・編さんの進捗確認 ・基本方針と事業内容との整合確認 	<ul style="list-style-type: none"> ・執筆、編集方針検討 ・調査方法の確認 ・内容精査 	<ul style="list-style-type: none"> ・資料調査 ・補足調査 ・原稿執筆、図版作成等 ・内容精査 	<ul style="list-style-type: none"> ・各委員会、部会に関する事務 ・収集資料の整理 ・資料目録作成 ・中間報告 ・内容精査、著作権チェック
H31 <u>調査執筆</u> <u>編集・校正</u>	<ul style="list-style-type: none"> ・編さんの進捗確認 ・基本方針と事業内容との整合確認 ・活用策の検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・執筆、編集方針検討 ・調査方法の確認 ・内容精査 	<ul style="list-style-type: none"> ・補足調査 ・原稿執筆、図版作成等 ・内容精査 ・校正、読みあわせ等 	<ul style="list-style-type: none"> ・各委員会、部会に関する事務 ・資料目録作成 ・中間報告 ・内容精査、著作権チェック ・編集、校正
H32 <u>印刷・発行</u>	<ul style="list-style-type: none"> ・冊子発行に向けての最終確認 ・活用策の検討 	※開催未定		<ul style="list-style-type: none"> ・市誌講座の開催 ・本文最終チェック ・印刷、刊行
H33以降	※開催未定		<ul style="list-style-type: none"> ・市誌講座の開催 	<ul style="list-style-type: none"> ・テーマ別小冊子発行

9. 編さん後の普及活動（案）

『高浜市のあゆみ』を、生涯学習の一助、学校現場での教材として幅広い世代の市民に活用していただくため、冊子完成後、以下の活動を実施します。

- ①市内の幼稚園・保育園・小学校・中学校・高校への配布を行います。
- ②『高浜市のあゆみ』を用いた出前授業を実施するため、市内各校へ出向いての積極的な働きかけを行います。
- ③市内全ての学校現場における日常的な活用をめざし、部会に参加していただいた教員によるモデル授業を実施します。
- ④『高浜市のあゆみ』の内容に沿った講座を「市誌講座」として開催。編集委員会や部会のメンバーが講師となり、現物資料を交えながら冊子の内容をわかりやすく紹介することで、市民の興味関心をさらに掻き立てることが目的です。
- ⑤かわら美術館において、『高浜市のあゆみ』の内容に沿った企画展を開催することで、市内だけでなく、市外の方にも冊子の存在をPRするとともに、高浜市の文化について知っていただく場を設けます。
- ⑥市広報において、冊子の内容を一部抜粋したコラムを定期的に掲載します。
- ⑦『高浜市のあゆみ』に収録されている内容をより詳細に記したり、収録しきれなかった内容をテーマごとにまとめるなど、本編と合わせて活用できる小冊子を発行します。

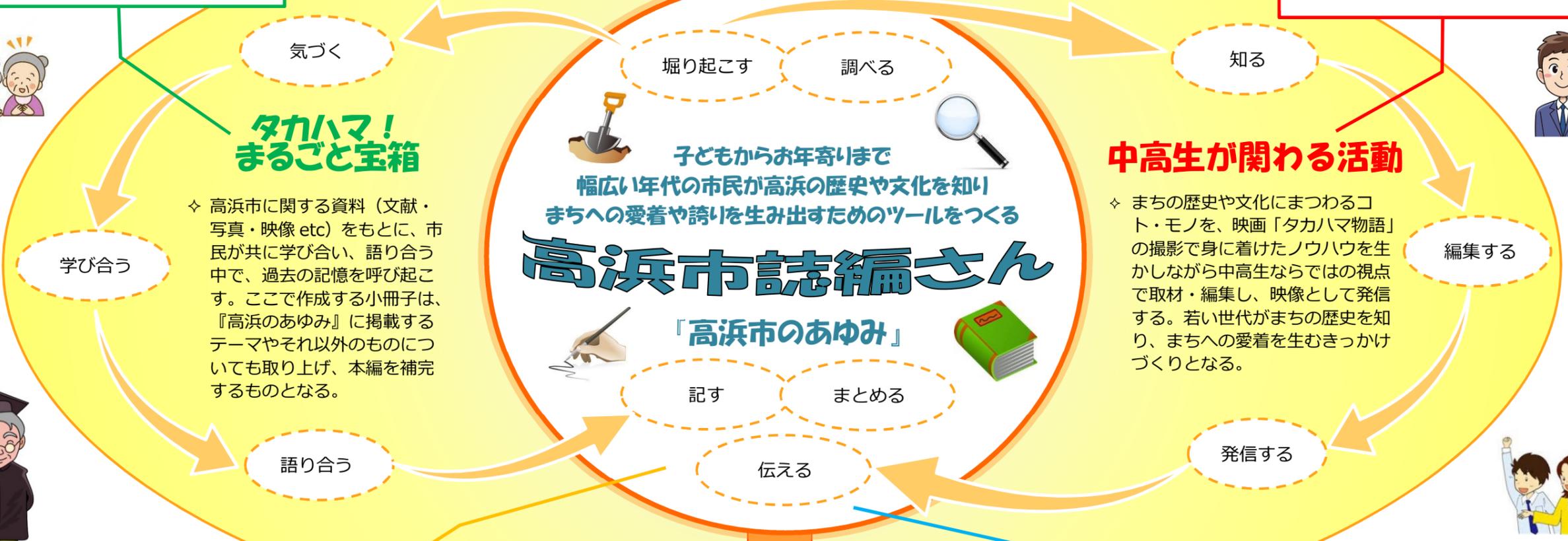
7. 高浜市誌編さん体制（イメージ）



高浜の**魅力**を知ること
 「もっと知りたい」という**好奇心**や
 「より良いまちにしたい」という**愛着**や**誇り**が生まれる

市民のかかわり
 ◇市内に眠る資料や情報の提供
 ◇タカハマ！まるごと宝箱における学
 び合い・語り合い
 ◇過去の記憶を語る

中高生のかかわり
 ◇市誌に掲載される高浜の歴史・文化に
 ついて、独自に取材
 ◇取材内容を編集し、インターネット、
 フェイスブック、ラジオ等で情報発信



**タカハマ！
まるごと宝箱**

◇高浜市に関する資料（文献・
 写真・映像 etc）をもとに、市
 民が共に学び合い、語り合
 中で、過去の記憶を呼び起
 こす。ここで作成する小冊子
 は、『高浜のあゆみ』に掲載
 するテーマやそれ以外のもの
 についても取り上げ、本編を
 補完するものとなる。

中高生が関わる活動

◇まちの歴史や文化にまつわるコ
 ト・モノを、映画「タカハマ物語」
 の撮影で身につけたノウハウを生
 かしながら中高生ならではの視点
 で取材・編集し、映像として発信
 する。若い世代がまちの歴史を知
 り、まちへの愛着を生むきっかけ
 づくりとなる。



学識経験者のかかわり
 ◇市誌の内容についてコーディネート
 ◇市誌編さんのための専門的な調査
 ◇収集した資料を用いての執筆

大学生のかかわり
 ◇市誌掲載内容から、聞き書きテーマの
 選択
 ◇市民への聞き書き調査
 ◇調査成果の編集

- ★市内(市民・教育現場)における高浜の歴史や文化に対する関心の高まり
- ★美術館展覧会や文化財保護事業等における新資料の蓄積
- ★生涯学習として市の歴史や文化を学ぼうとする人材の発掘

高浜の歴史や文化を**市民にわかりやすく伝える**ツールが必要